

+幸せを探すあなたへ



パンデミックが来た！

酵母のように広がっている新型インフルエンザ(H1N1)の恐怖 6月11日、国連傘下の世界保健機構(WHO)がインフルエンザ警報の最高段階であるインフルエンザ A[H1N1](新型インフルエンザ)ウイルスの大流行(pandemic)を宣言した中で、新型インフルエンザの感染者が135ヶ国10万人に迫り、死者は19ヶ国429人(7月6日現在)に増加しました。韓国でも13日現在482人の感染者が発生して、学校が休校したり、ドラマ撮影が中断されて、国際合唱大会であるワールドクワイア・チャンピオンシップ・コリア 2009の行事が取り消しになったりもしました。専門家たちは、現在、南半球で猛威を振っている新型インフルエンザが、また気温がさがる10月以後、北半球で再流行するようになって、変種を起こす可能性が大きいと予想しながら、この場合、死者が多数発生するのも時間の問題だと指摘しています。1918年5千万人が死亡したスペイン風邪(インフルエンザ(H1N1))、1957年と1968年に180万人が死亡した香港風邪(H2N2, H3N2)、2003年700人以上が死亡したSARS(コロナウイルス)、1976年ザイル(コンゴ)で発生して感染すれば無条件に1週間以内に死んでしまうエボラウイルス、1981年アフリカから全世界で暴風のように広がったエイズ(HIV)ウイルス…。まだ新型インフルエンザおよびAI(鳥類インフルエンザ)、エイズ、エボラなどは、予防ワクチンの開発がはるかに遠い状態とされています。国内外の感染専門家たちは、歴史的にインフルエンザ大流行の10~40年周期説を根拠に、2008~2010年をパンデミック再到来の時期と見ています。パンデミック(Pandemic)という言葉は、AIウイルスが人体内で「大変異」を起こして、全世界的に呼吸器伝染病を流行させる現象を意味することで、ギリシャ語から由来した「pan(すべての)+demic(人)」で知る

ことができるように、一度発生すれば、全世界に広がって、かかった人みんなが死亡するという意味です。

予防と根本的な解答 一方、イ・キルヨン癌糖尿研究センターの呼吸器内科キム・シンテ博士は、新型インフルエンザに対する予防法は、手をしばしば洗ったほうが良いが、くしゃみや咳をする場合には、ティッシュで口と鼻をふいた後、必ず手を清潔に洗って、発熱や呼吸器症状がある人との接触を避け、症状が発生したときには、はやく医療スタッフの助けを受けるのが最も良い方法だと言いました。ところで、このように地球上に、絶え間ない苦しみがある根本的な原因と解答は何でしょうか。聖書は、こういう不幸な人生が人生の本質ではないと明らかにしています。永遠の幸せを味わいながら生きようとして創造されたのが人間の本質ですが、サタンの策略にだまされて、神様を離れた人間に訪れてきたのは不幸と苦しみだけでした。理解することも、解決することもできない目に見えない霊的問題とともに、精神、肉体、家庭、子ども、来世問題に苦しめられるようになりました。それで、神様はキリストを送って、人間の不幸を解決してくださったのです。**イエス・キリストがこの世に来られ、サタンがもたらす霊的な問題を解決されて、呪いと災いの苦痛から解放され、苦しみの中でさまよう人生に、神様に会える道を開いてくださいました。**人間の苦しみのすべての原因を解決されたのです。だれでもイエス・キリストを信じる者は、すべての苦しみから自由になることができます。人間の真の癒し、完全な癒しは、神様が私と永遠にともにおられるようになることです。

長老伝道企画時代 重職者が味わう答え



幸いな人 1991年9月26日、アメリカ、アリゾナ州の砂漠に作られた、新ノアの箱舟と呼ばれるバイオスフィア2(Biosphere2)で人間実験が始まりました。1万2,750㎡の完全に遮断された構造物と、その中にそろえられた完ぺきな生態環境の中で、8人の男女が生活するようになった

のですが、彼らは2年と20分で、実験をあきらめて出てくるようになりました。彼らが出てきた後、最も大きい苦難は人間だったと告白しました。たった八人だった構成員は、時間が過ぎるほど、お互いがお互いを苦しめて、ののしりあって、互いに軽べつしたと告白したのですが、人間の本性がどんなものかを見せた最終報告書は明らかにしました。

聖書は、幸いな人に対して簡単な答えを与えています。「幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかつた、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ」(詩篇 1:1~2) 人間の真の幸せと満足は、神様だけが与えることができます。「何事かを自分のしたことと考える資格が私たち自身にあるというわけではありません。私たちの資格は神からのものです。(コリント 3:5)

重職者は真の幸せと答えのモデル これは重職者が味わわなければならない真の幸いと答えがあるということです。イエス様は十字架で死にながら「完了した」(ヨハネ 19:30)と宣言されました。ですから、イエス・キリストの中にいるということは、すでにみな受けて、みな来ているということです。まず先に、みことばと事件、生活の中で3つのことを味わわなければなりません。イエスがキリストという結論と、神の国、聖霊の働きを通して地の果てまで証人になる祝福を味わわなければなりません。そして、聖書にある世界福音化の20の戦略が、私のビジョンとなって、私の幸せとして味わわなければなりません。この祝福を教会の中に持って入って、地域、機関、聖日学校と専門家(エリート)を生かして、現場のあちこちに伝道弟子が集まる地教会を立てて、重職者時代を開かなければなりません。それで、この祝福の影響力が、全世界の現場に広がるように、産業宣教の祝福を味わって、レムナントと RUTC(レムナント共同体訓練場)、OMCを通して、私たちの次世代を育てるのです。それがまさに宣教の中の宣教です。このようになる時、神様は答えられるしかありません。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

救しの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

人生の絵を描きましょう

世界を生かす最高の方法は次世代(レムナント)です。ヘブル9章27節を見れば、一度死ぬことは人に定まっていると言われています。その日には、世の中の何も効果がなくて、とても大切にしているものも持っていくことはできません。多くのものを残しても、問題だけが生じます。しかし、残るものがあります。信仰の足跡です。ヨシュア4章19節から24節を見れば、次世代のための記念碑的祝福を残して、来たる世代が知ることができるようにしなさいという命令が記録されています。みなさんは年をとっても、信仰の歩みは持続するでしょう。亡くなる日にも信仰の足跡は消え去らないでしょう。全世界にレムナント共同体訓練場(RUTC)が立てられれば、どんなことが行われるのでしょうか。全世界のレムナントが起きて、彼らが専門家になって、政治家になって、裁判官になって、企業家になる場合、どんなことが起きますか。皆さんの信仰の足跡は、世界史、キリスト教会史、伝道運動の歴史に残るようになるのです。それで、パウロはこの事実を知って、会堂に、講堂に入っていて、次世代を育てました。その結果、250年後、ローマを征服したのです。ユダヤ人がこの事実を知って、次世代を育てることに、ものすごい投資をした結果が、今、全世界に対する影響力として現れています。アメリカが20世紀を掌握した理由もそれです。全世界に大学が2万個ありますが、その中の5千個がアメリカにあります。それは、はじめから次世代を育てる戦略を使ったということです。ですから、私たちは、福音を持ったエリートの次世代を育てることに、生涯をすべてかけて、彼らの専門性とインターンシップのための土台を用意しなければなりません。この次世代の中に未来が入っていて、暗やみを打ち砕く隠れた経済が入っていて、世界を変化させる文化が入っています。これがまさに私たちが見なければならぬ真実なことで、私たちの人生の結論です。だれがなんと言っても、すべての人は霊的問題に陥っていて、この世は福音が宣べ伝えられた後に終わりが来るために、この約束を握って献身しなければなりません。私たちが伝道者であることが間違いないなら、真の幸せがどこにあるのか、真の希望が何か、真の力が何か本当に考えてみなければなりません。

わたしは、あなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である。福音をもって世界を生かさなければならぬ私たちは、どのように祈りの答えを受けられるのでしょうか。先に今までともにおられた神様の力を証拠で握らなければなりません。出エジプトする時に見せられた10の奇跡、荒野の道の雲の柱と火の柱の動き、紅海を分けられた事件、私たちのすべての運命、サタン、呪いの中から救い出された福音、これで終わりです。これを持って未来を手前に引っ張って、事実化、現実化されるように祈りの課題としてつかむことです。そして、さらに重要なのが根本的ないのち(福音)です。これを握って祈れば、まちがいに答えられるみわざが起きます。そして、根本的ないのち(福音)を持った者にとって、苦難は証しです。私たちは世の中の恐れる霊を受けたのではなく、子としてくださる霊を受けた神様の子どもです。これは、法的に神様の答えを受けるしかはない権威を受けたということです。そして、霊的戦いを通してサタンの権威を打ち砕いて、世界福音化できる実際の権威を堂々と受けたということです。また永遠になくならない権威を持って、神様の栄光を現わすようになったということです。ただ、サタンのうそにだまされなければ良いのです。今から、事実的に根本的な勇気を持って、神様のみことばを握って、肉体的なものは変わるから霊的なことを握って挑戦すれば良いのです。この約束を握って、人生の絵を描きながら、人生に貴重な祝福が始まることを祈ります。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

20日(月)

始めよう。重要な一つの事(詩1:1~6)

実際に信徒に最も重要なことは、黙想です。黙想は、神様のみことばに私の心を一度に注ぐことです。仕事を始めたり、判断する時や問題がきた時は、みことばを黙想して、牧会者と指導者の助言を求めて、今日、成功しなければなりません。

21日(火)

福音の内容(テモテ2:1)

私たちの次世代は、福音エリートとして福音に根を深くおろして、答えを味わいながら、専門化の奥義を持って世界を生かす準備をしなければなりません。必ず朝型、勉強型、そして、ともに行ける配慮と祈り、みことば、伝道の実際を学ばなければなりません。

22日(水)

先に知ること(ヨハネ15:16)

私を救われたのは、ただ神様の恵みなので、私と関係するすべての人を神様の恵みで見るのが重要です。信仰は私が神様を信じることで、信仰生活は他の人と一緒に神様に仕える生活です。それで、神様がくださった恵みの目で他の人を配慮すべきです。

23日(木)

親の人生スケジュール(使徒16:31)

祈りの答えを受けた人や成功した人たちは、すべて祈りと伝道に関する全体スケジュールを持っていました。子どもに祈りと伝道のスケジュール、神様に自分をささげられる福音的成功を伝えることが親の最高の使命です。

24日(金)

モーセの歌(出15:1~18)

福音を持った次世代に、救いは最も重要な開始で、今、祈りの答えを受けるのは、信仰生活に最も重要なことです。最高の答えを味わったモーセは、出3:18節の犠牲のいけにえの契約を知って、神様の永遠さと導きを感謝する歌と祈りをしながら、神様と同行するインマヌエルを味わいました。

25日(土)

この世の義人は唯、ひとり!(ローマ3:9~18)

創世記3章に神様を離れた事件以後、この世に義人は一人もいません。それで、神様はキリストを送って、十字架でサタンの戦略とすべての暗やみの権威を打ち壊してくださいました。救われた者に子どもとされる霊をくださって罪と死の原理から永遠に解放してくださいました。

週間メッセージ

産業宣教 | 重職者とレムナント(使徒19:9-10)

伝道学 | 体質作り(テモテ2:7)

核心訓練 | 伝道者が見なければならぬ現場(使2:43-47)

聖日1部 | わたしは、あなたを奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である(出10:1-7)

聖日2部 | 子としてくださる御霊(ローマ8:12-17)



イラスト_ユン・スルギ

ラリサの 涙

子どもの困難を彼ら自身は体で感じるが、母は胸で感じる。ウクライナにローマという若者がいた。村の子どもと付き合っていたら、自然に喫煙するようになり、薬物に接するようになり、結局は、麻薬に手をつけるようになった。誤った道であることを知って、元に戻して変えようとした時は、すでにからだの深くに苦しみがある状態で、変えることができない時間を送らなければならなかった。

結局、お母さんのラリサの手に頼らなければならぬ瞬間がきて、ラリサは麻薬治療病院にローマを連れて通いながら、7年という歳月の間、ともに苦しみを分かちあった。いっそ、その苦しみを自分の体で受けたほうが良いという、どうしようもない考えを前面に出しながら、息子の手を握って、毎日、毎日、悲しみの涙をとめどなく流し続けていた。癒しの変化が見えなかったけれど、それでも、病院をやめることはできなくて、ずっと通うしかなかった。息子の痛みと、自分の人生で感じる無力感から、母のラリサは、カード占いにはまってしまった。カードを手でなでて、人生は何か、未来は何かを見ようとひっくり返してみながら、より高い境地にまで達するために多くの占いの本を一生懸命に探したが、現実でもカードでも、答えはなくて、さらに未来は分からなかったし、死の暗い黒い影だけがちらついて、結局は、あきらめる境地にまで至った。

韓国で10年ほど前に体験した IMF を現在体験しているウクライナでは、彼らの人生は日に日に疲れていっている。あきらめるしかはない状況になって、不幸であっても息子が好きなように生きなさいと放って、失望して数ヶ月たったある日、その息子が少しの間、家に戻ったが、彼を見たお母さんラリサはびっくりした。いつでも憔悴してよどんだ瞳に、だらりと力が抜けた肩に、苦しさだけで無気力な息子ローマの姿は影も形もなくて、自信に満ちた目と希望を持った話で未来を期待するローマは、以前のその麻薬病院で言いなりになっていたローマではなかった。どうして、そんなに短時間に、母親も理解できないことが起きたのかと尋ねたが、ローマ自身も、自分に起きたことを説明できなかった。ただ、自分が通っていた病院で会った一人の兄弟を通して、

彼が韓国の宣教師を通して受けた福音を伝え聞いて、自分もそれを告白したが、心の平和が訪れてきて、今は病院でなく、その兄弟がいる所に行き、そのメッセージをずっと聞いていれば生きることができるという確信が生まれて、村から 200km 離れた所で伝えられる福音を聞きながら、アルバイトで生活しているということだった。

それがなにかというラリサの問いに、一枚の紙に記録された福音メッセージを見せたら、母ラリサは、一気にそれを読んで、自分もその事実を信じると告白し、イエスをキリストとして受け入れ、その日に自分が占ったカードと本を捨ててしまった。聖日ならば、自分も 200km を一気に走って行って、息子とともに礼拝をささげて帰ってくるのに、日々、変わるローマの姿に、今は悲しみの涙を流した目から、とめどなく喜びと感謝の涙が出てくると言った。

このように、一回だけ聞けば人生の解答を得る福音メッセージを伝えようと、伝道者の名前で、ウクライナまで 240 時間の間 15,000km を往復した。今日、あなたの涙がどんな種類の痛みと悲しみを持っているとしても、イエスがキリストであるという単純で正確な福音を受けたら、麻薬に苦しめられる息子の苦しみを胸で抱いたラリサのように、真の涙の価値を見つけるようになる。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください